



## ニツ塚処分場内に植樹する ポット苗の育成に取り組んでいます

循環組合ではニツ塚処分場の自然環境を保全する事業に取り組んでいます。処分場内は約4割が緑地として残っていますが、そこをスギやヒノキの林から広葉樹が茂る多種混合林へと転換するため、地元産のドングリなどの種子を散布するとともに、ポットで育てた苗の補植などを継続的に実施しています。

その促進のため、平成19年度から青梅市立第六小学校の協力のもと、ポット苗の育成に取り組んでいます。平成20年度からは新たに立川市立第四小学校がその活動に参加することに

なりました。7月15日(火)には同小学校の5年生が処分場を見学。環境保全の活動についての話を聞いた後、谷戸沢処分場

に移動して植物や昆虫と触れ合いました。

今後、2つの小学校でポット苗の育成を進めていく予定です。



立川市立第四小学校の見学会の様子。室内で講習会を受けた後、埋立が終了し自然回復が進む谷戸沢処分場で自然と触れ合っていました

### 【ポット苗作成スケジュール】5・6学年の2年間にわたって取り組みます

|     |     |                             |
|-----|-----|-----------------------------|
| 5学年 | 春～夏 | 事前見学会(ニツ塚処分場・谷戸沢処分場)        |
|     | 冬   | 種子のポット苗作成、落ち葉等で被覆           |
|     |     | *以降は適宜、除草・水やり・堆肥・成長の記録などを実施 |
| 6学年 | 冬   | ニツ塚処分場の林内への補植               |



## 日の出だより

日の出町 No.39

多摩地域 東京都 区部

### 第20回「産業まつり」を開催します！

日の出町では、毎年秋に「産業まつり」を開催しています。町内で生産された自慢の農産物や特産品を直売するイベントで、会場には地元商店をはじめ、約100の店舗が立ち並びます。町の産業に触れ、楽しいひとときを満喫できると、例年好評です。

中でも毎年盛り上がりを見せるのが、一般参加者によるステージショー。そのほか、子ども達が楽しめる企画も準備しています。

今年は11月1日・2日に開催します。ご家族やお友達、みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

■開催日／平成20年11月1日(土)・2日(日)  
10時～16時  
■場 所／日の出町民ランド

#### 【上記に関するお問い合わせ先】

日の出町役場 産業観光課 商工係  
TEL.042-597-0511(内線:207)

■日の出町ホームページ  
http://www.town.hinode.tokyo.jp/



▲一般参加者の活躍が楽しみなステージショー



▲野菜をはじめ、日の出町の特産品を販売します

## Information

### 循環組合の動き

7月 2日(水) 谷戸沢処分場水質等調査結果公表  
ニツ塚処分場水質等調査結果公表  
エコセメント化施設水質等調査結果公表(平成19年度分)  
平成19年度ダイオキシン類調査結果公表

8月 20日(水) 第32回谷戸沢処分場環境影響評価委員会

#### 【谷戸沢処分場・ニツ塚処分場・エコセメント化施設水質等調査】

谷戸沢処分場・ニツ塚処分場・エコセメント化施設では、日の出町および地元自治会と締結した公害防止協定に基づき、厳格な調査を定期的に実施。周辺環境に影響を及ぼさないように管理している。調査結果はホームページで公表。

#### 【ニツ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査】

平成9年から処分場敷地内の4地点を対象に年4回、大気中ダイオキシン類の調査を実施している。調査結果はホームページで公表。

### 秋川流域開発振興協議会からのお知らせ

## マス釣り&バーベキュー参加者募集

あきる野市、日の出町及び檜原村で組織する秋川流域開発振興協議会では、魚釣りなどの体験を通じて自然環境のすばらしさ、水資源の大切さを実感していただくため、マス釣り&バーベキューなどのイベントを開催します。

紅葉でいられる秋川渓谷を満喫いただきながらご家族などで、憩いのひとときをお過ごしください。

- 日 時／平成20年11月15日(土)11時～15時(雨天決行)
- 場 所／秋川国際マス釣り場(あきる野市養沢)  
JR武蔵五日市駅から無料送迎バスあり
- 内 容／マス釣り、マス・ヤマメのつかみ取り、バーベキュー、物産販売、体験学習、など
- 定 員／300名(申込み多数の場合は抽選)  
11月初めに参加決定通知を送付します。
- 費 用／大人1,000円、子ども(中学生以下)500円
- お申込み方法

往復はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数(大人、子ども)、利用交通機関(電車・自家用車)、マス釣り体験希望人数を記入の上、10月24日(金)必着で、事務局まで送付してください。

#### ■お問い合わせ先

〒197-0814 あきる野市二宮350  
秋川流域開発振興協議会事務局 あきる野市企画政策部企画政策課  
TEL.042-558-1261(直通)



## 多摩400万人のごみ情報紙

# たまエコ

# ニュース

### 発行：東京たま広域資源循環組合

【事務局】 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内  
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

#### 循環組合組織団体

八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市 府中市 昭島市 調布市  
町田市 小金井市 小平市 日野市 東村山市 国分寺市 国立市  
福生市 狛江市 東大和市 清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市  
稲城市 羽村市 西東京市 瑞穂町

循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

3月号

6月号

9月号

12月号

VOL.47  
SEP.2008

年4回・最終日曜日発行

※掲載内容と時期により、発行日が前後する場合があります。

#### 「循環組合」とは

ニツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町のみならずの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用。また、不燃ごみの埋立をしています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

## エコセメント化施設本格稼働から2年 ニツ塚処分場の埋立量がさらに減少しました！

処分場への埋立量は  
前年度に比べ、  
約56%削減しました

多摩地域25市1町から出されるごみは、それぞれの自治体が運営する清掃工場(中間処理施設)で、可燃ごみは焼却灰に、不燃ごみは細かく破砕された状態に処理されます。その後、日の出町にあるニツ塚処分場に運ばれ、可燃ごみの焼却灰はエコセメントにリサイクルされ、不燃ごみは埋め立てられています。

住民のみなさんが積極的にごみの減量や資源化などに取り組んできたことで、処分場に埋め立てられるごみの容量は、平成13年以降、7年連続で減少させることができました。

さらに平成19年度の埋立量は10,679m<sup>3</sup>となりました。これは前年度と比べて約56%の減少、さらに平成17年度と比べると約89%という大幅な削減となっています。

エコセメント化施設の  
本格稼働で  
埋め立てるのは不燃ごみだけに

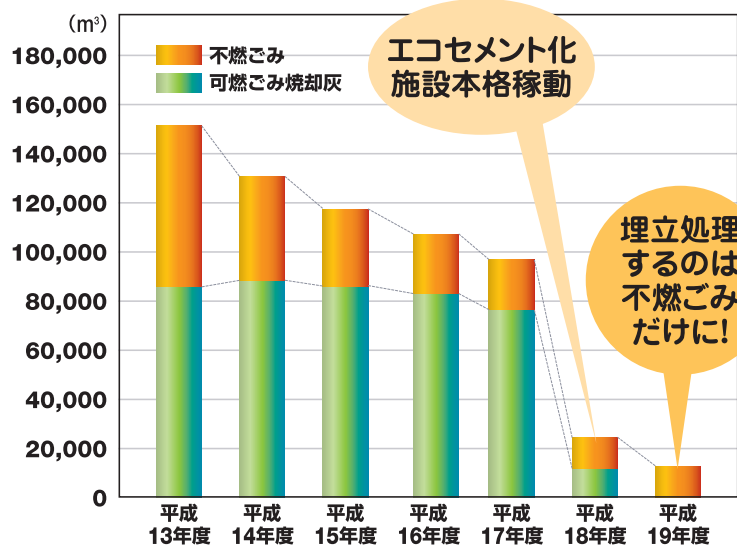
循環組合では資源循環型の社会づくりを推進するため、可燃ごみの焼却灰からセメントを作る「エコセメント事業」に取り組んでおり、平成18年7月には「東京たまエコセメント化施設」が本格稼働しました。

処分場に持ち込まれるごみのうち、約9割を可燃ごみの焼却灰が占めています。施設が本格稼働したことによって、それまで埋め立てざるを得なかった焼却灰が、全量資源としてリサイクルできるようになりました。その結果、処分場に埋め立てるのは不燃ごみだけとなり、埋立量の大幅な削減を実現することができたのです。

しかし、処分場ではいままも不燃ごみの埋立が続いています。限りある処分場を有効に利用していくため、今後もごみの減量、資源化の取り組みにご協力ください。

### ニツ塚処分場の埋立量の推移

ニツ塚処分場に埋め立てられた  
可燃ごみ焼却灰と不燃ごみの量の推移。



さらなる  
ごみ減量を！



### 洞爺湖サミットにもエコセメントが登場！ 日の出町でも使用されています

エコセメントは普通セメントと同等の性質を持つことがJIS規格で規定されており、普通セメントと同様に幅広い用途で使用できます。

現在、東京たまエコセメント化施設で生産されたエコセメントは、道路の舗装材や緑石、側溝などのコンクリートの二次製品に加工されています。ニツ塚処分場のある日の出町では、公園の工事でほぼすべてのコンクリ

ート製品にエコセメント製品を用いるなど、各地でその利用がはじまっています。

さらに7月上旬に開催された「北海道洞爺湖サミット」でも、国内の省エネ技術が集結した近未来型住宅「ゼロエミッションハウス」で、東京たまエコセメントが使用されました。ごみ問題を打開する、環境にやさしい土木・建築資材として注目を集めました。

日の出町の三吉野桜中央公園では、歩道の舗装材や水飲み場、ベンチ、緑石、車止めなど、さまざまなエコセメント製品が使用されています。「エコセメント製品の用途の幅広さを実感しました。今後も積極的にエコセメントを利用していくつもりです」と語るまちづくり課の山田さん、北匂さん、森田さん(写真左から)



「環境サミット」とも呼ばれた「北海道洞爺湖サミット」。報道機関の拠点となった国際メディアセンターの隣接地に設置された「ゼロエミッションハウス」では、玄関の階段やスロープなどにエコセメントが使用されました

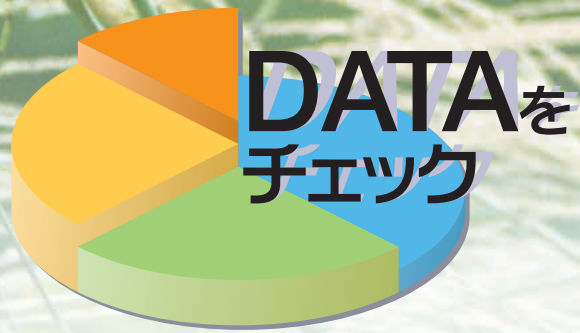
ホームページを  
ご覧ください

http://www.tama-junkankumiai.com

循環組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先  
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

「たまエコニュース」の内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。  
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係  
【メールアドレス】 sjkumiai@tama-junkankumiai.com



# 多摩25市1町が一丸となって、 ごみを削減！

ごみ問題への意識が高い多摩地域では、住民のみなさんもおみ減量に積極的に取り組んでおり、その活動は着実に成果を上げています。



## 多摩地域で収集されるごみの量は 前年より約37,000トン削減されました

平成19年度の1年間で、二ツ塚処分場に持ち込まれたごみの量（搬入量）は、可燃ごみの焼却灰と不燃ごみを合わせて89,102トンでした。これは前年と比較して約7.7%の減少となります。

また、多摩25市1町で収集されるごみの量についても、可燃ごみは24,800トン減の824,342トンに、不燃ごみは10,736トン減の98,404トンになりました。1年間で多摩地域の人口は27,909人増加しているのに対して、総ごみ量は36,746トン減少しており、住民1人が出すごみの量が確実に減少していることがわかります。多摩地域のごみ問題への意識の高さがうかがえます。

### ごみの搬入量



### 25市1町の総ごみ量比較 平成18・19年度

総ごみ量とは、市町による収集ごみと、許可業者等が収集して市町の処理施設に搬入する持込ごみを合わせた量。

|        | 平成18年度    | 平成19年度    | 前年度比較   |
|--------|-----------|-----------|---------|
| 人口(人)  | 3,944,222 | 3,972,131 | +27,909 |
| 可燃(トン) | 849,142   | 824,342   | -24,800 |
| 不燃(トン) | 109,140   | 98,404    | -10,736 |
| 資源(トン) | 250,539   | 250,292   | -247    |
| 粗大(トン) | 30,356    | 29,412    | -944    |
| 有害(トン) | 1,680     | 1,661     | -19     |
| 合計     | 1,240,857 | 1,204,111 | -36,746 |

※組合組織構成団体25市1町の合計の数値  
※「多摩地域ごみ実態調査」(平成18年度版・平成19年度版、財団法人東京市町村自治調査会)より

## 不燃ごみの埋立は続いています より一層のごみ減量にご協力を

多摩地域の資源循環型の社会づくりを力強く推進するのが、「エコセメント事業」です。可燃ごみの焼却灰がエコセメントとして道路の側溝や縁石、建物用の鉄筋コンクリートなどに生まれ変わること、新たな物質循環のモデルが構築され、多摩地域の資源化率を大幅に伸ばすことができたのです。

ただし、現在も処分場では不燃ごみの埋立が続いています。二ツ塚処分場は平成20年3月までに約43.9%の埋立が終了しました。限られた処分場を有効に利用していくためには、一人ひとりがより一層のごみ減量、資源化に取り組むことが不可欠となります。



▶歩道の舗装材や車止めなど、さまざまな分野でエコセメント製品が使われています(二ツ塚処分場がある日の出町・三吉野校木中央公園)



◀不燃ごみが埋め立てられる二ツ塚処分場。奥に見えるのがエコセメント化施設

### 平成19年度 組織団体別廃棄物搬入量

組織団体(25市1町)各市町の人口と、二ツ塚処分場およびエコセメント化施設への廃棄物搬入量。

| 組織団体  | 人口(人)<br>平成19年10月1日現在 | 搬入量(トン)  |
|-------|-----------------------|----------|
| 八王子市  | 551,644               | 12,482   |
| 立川市   | 175,675               | 6,280    |
| 武蔵野市  | 136,780               | 3,602    |
| 三鷹市   | 177,469               | 2,368    |
| 青梅市   | 140,132               | 2,843    |
| 府中市   | 244,622               | 2,535    |
| 昭島市   | 113,014               | 3,236    |
| 調布市   | 215,750               | 3,110    |
| 町田市   | 415,848               | 9,726    |
| 小金井市  | 112,706               | 1,941    |
| 小平市   | 182,413               | 5,255    |
| 日野市   | 174,834               | 4,492    |
| 東村山市  | 148,004               | 3,302    |
| 国分寺市  | 116,586               | 2,607    |
| 国立市   | 74,177                | 927      |
| 福生市   | 61,052                | 1,427    |
| 狛江市   | 77,051                | 725      |
| 東大和市  | 83,244                | 2,628    |
| 清瀬市   | 73,621                | 1,835    |
| 東久留米市 | 115,943               | 3,273    |
| 武蔵村山市 | 69,319                | 1,998    |
| 多摩市   | 146,854               | 4,401    |
| 稲城市   | 80,472                | 846      |
| 羽村市   | 57,557                | 1,207    |
| 西東京市  | 192,835               | 5,107    |
| 瑞穂町   | 34,529                | 949      |
| 合計    | 3,972,131人            | 89,102トン |

※搬入量は小数点以下を四捨五入しており、端数調整を行っている。  
※人口:「住民基本台帳による世帯と人口」東京都総務局統計部。

## ごみの ゆくえを 知ろう!

## 「夏休み処分場見学会」を行いました

毎年恒例の「夏休み処分場見学会」を8月5日(火)、22日(金)に実施しました。親子を含む139名の方々に、ご参加いただきました。

見学会ではまず、多摩地域の清掃工場でごみ処理の様子を見学しました。ここでは、家庭から出された可燃ごみを焼却、また不燃ごみを小さく破碎するなど、ごみの種類に応じた処理が行われています。燃えるごみに混ざっていた乾電池などの金属類を、焼却灰の中から手作業で回収する様子を見た参加者は、「ごみの分別をしっかりとしましょう」という係員の言葉にうなずいていました。

午後は日の出町の二ツ塚処分場で可燃ごみの焼却灰をリサイクルするエコセメント化施設と、不燃ごみ埋立区域などを見て回りました。その後、谷戸沢処分場へ移動して、環境指導員から周辺の動植物についての説明を受けました。双眼鏡で風景を眺めたり、親子で標本に見入るなど、谷戸沢の自然に触れました。

ごみがどのように処理されているか、その流れを追った一日でした。



小平・村山・大和衛生組合(清掃工場)を見学しました

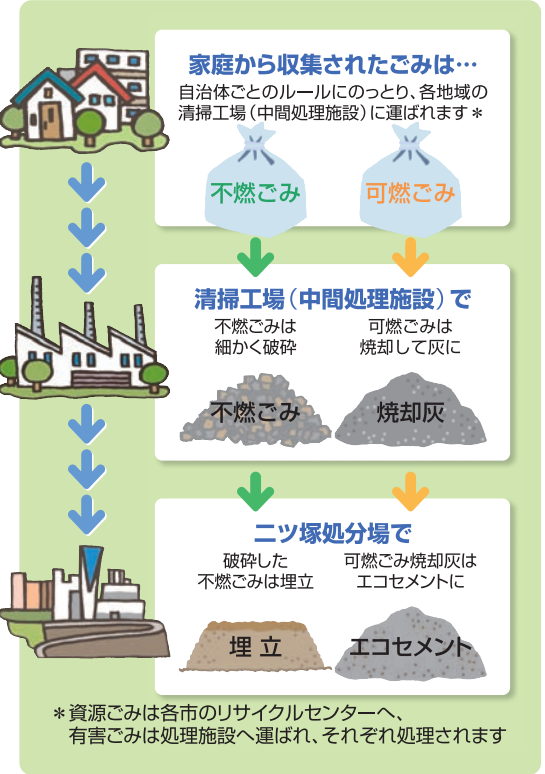


クレーン操作室を見学。ごみを混ぜてから焼却炉に運びます

知っていますか?

### ごみの流れ (一例)

各地域によって、ごみ処理のルールは異なります。



\*資源ごみは各市のリサイクルセンターへ、有害ごみは処理施設へ運ばれ、それぞれ処理されます



ごみ焼却灰から金属類を回収。最後は手作業で選別します



エコセメント製品が展示されたエコセメント化施設

## 「地域で取り組む」 ごみ減量 レポート

環境先進地域・多摩では、ごみ減量を促進する3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関するさまざまな取り組みが実践されています。このコーナーでは、そうした多摩25市1町で行われているごみ減量の取り組みを紹介していきます。

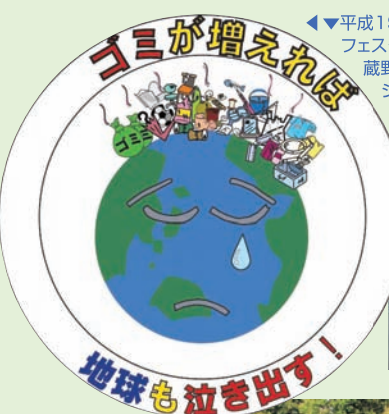


## 家庭ごみを削減するため 「ごみチャレンジ700グラム」を宣言

武蔵野市

武蔵野市では平成18年11月に「武蔵野ごみチャレンジ700グラム」を宣言。市民1人が1日に出す家庭ごみ、資源ごみの量(平成19年度743g)を、多摩地域の平均である700g以下まで削減するため、さまざまなごみ減量の活動に取り組んでいます。毎年恒例のリサイクルイベント「むさしの青空市」(11月)や年4回開催されるフリーマーケットでは、会場内にブースを設置。ごみ減量のパネル展示や、700gのごみ量を実体験するゲームを実施するなど、ごみ減量の啓発活動を行っています。

また、武蔵野市では、平成15年10月から清掃工場で不燃ごみを破碎し、金属類を回収した後に残るごみを焼却処理しています。焼却にあたっては、2度の試験焼却を実施して環境への影響がないことを確認しました。現在、可燃ごみ及び資源回収後の不燃ごみの焼却灰はすべてエコセメントにリサイクルされており、同市では二ツ塚処分場でのごみの埋立は行っていません。こうした不燃ごみを埋め立てない多摩地域の自治体は、これまでに9市となっています。



▶市ではリユース促進のため、フリーマーケットを年4回開催。「プラスチックや空き缶などをごみ袋に詰めて700gのごみ量を体感できるゲームは、「自分で捨てるごみ量をあらためて実感できた」と市民のみなさんにもたいへん好評です」と同市ごみ総合対策課



◀▼平成19年2月に開催された「ごみ減量フェスタ」では、市内の小中学生から「武蔵野ごみチャレンジ700グラム」のシンボルマークを募集。応募総数約940点の中から選ばれたシンボルマークは、市で製作したポケットティッシュ、うちわなどに使用されています

## 牛乳パックをリサイクルした トイレットペーパーで資源回収をPR

昭島市

昭島市では、平成14年4月にごみの有料化、平成16年10月にごみの戸別収集を開始するなど、計画的にごみ減量の活動に取り組んでいます。

平成19年度には、資源化率の向上を図るために牛乳パックをリサイクルしたトイレットペーパーを製作。毎年6月に開催される「昭島市消費生活展・リサイクル展」等の市主催の各種イベントにおいて、牛乳パック5枚と交換でトイレットペーパーを配布することで、牛乳パックの回収率アップを訴えています。

また、昭島市では資源循環型のまちづくりを進めるため、「環境コミュニケーションセンター」の設立を計画しています。施設は廃棄物を分別してリサイクル処理を行う「リサイクル棟」と、情報の受発信や環境教育を行う「プラザ棟」で構成。施設の周辺も「地域コミュニティの形成と環境共生型の公園づくり」をテーマとした「エコ・パーク」として一体的に整備されます。昨年度、市民代表を含む検討委員会での検討、市民説明会での意見を基に整備基本計画をとりまとめ、現在、平成23年度の完成を目指し事業を進めています。



▲「牛乳パックはトイレットペーパーの主原料となるパーゼン(バルブに近い成分なので、リサイクルの優等生なんです」と同市のごみ減量推進係。写真は「昭島市消費生活展・リサイクル展」でトイレットペーパーを配布の様子



▶平成23年に完成予定の「環境コミュニケーションセンター」と「エコ・パーク」の整備イメージ図